

300

[Mixed Environment Exam]

Linuxにとどまらない力を  
証明する資格、LinuC。  
Linux、Windows、Unixの  
混在環境を操るなら、レベル300。

高速化、高性能、高信頼性が求められる

エンタープライズシステムはLinuxを中心に

実現されるようになりました。複数のシステムが

混在する環境は、今後ますます増えていきます。

選択科目「300 Mixed Environment Exam」では、

Linux、Windows、Unixなどによる混在環境の構築等、

Linuxにとどまらない実践的な能力を証明することができます。

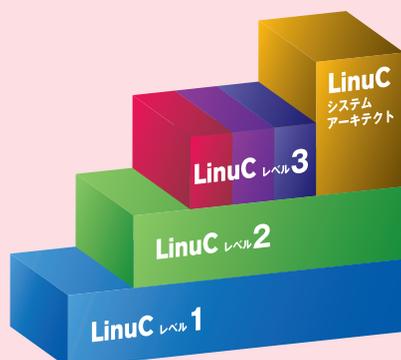
LinuC  
リナック

Level.

異種OS混在環境のシステム構築ができ、認証統合とリソースの共存ができるスペシャリストとして認定されます。



1. Linux、Windows、Unixの混在環境のシステム・インテグレーションやトラブルシューティングができる。
2. 冗長構成でLDAP、OpenLDAP、Sambaを使ったシステムや認証サーバを構築できる。



**LinuC システムアーキテクト**

ITプロジェクトを成功に導く上級エンジニア

SA01試験 SA02試験

**LinuC レベル3**

高度な技術力を備えた特定分野のスペシャリスト

304試験 (仮想化&高可用性)

300試験 (現在実施) 303試験 (セキュリティ)

**LinuC レベル2**

仮想マシン・コンテナを含むLinuxシステム、

ネットワークの設計・構築

201試験 202試験

**LinuC レベル1**

物理・仮想Linuxサーバーの構築・運用

101試験 102試験

レベルについて —— 4種類のレベルで体系的な知識と、実用的な技術を習得

- LinuCにはレベル1、レベル2、レベル3、システムアーキテクトの4種類のレベルがあり、上位レベルの認定には下位レベルの認定が必須です。
- レベル1、レベル2に認定されるためには、レベル毎に2つの試験の合格が必須です。
- レベル3に認定されるためには、300試験、303試験、または304試験のいずれかひとつの試験に合格し、有意なレベル2認定を保有している必要があります。
- システムアーキテクトに認定されるためには、SA01試験とSA02試験の両方に合格し、有意なレベル2認定を保有している必要があります。

いつかは LinuC レベル 3。IT エンジニアの頂点へ。

# Level.3 300 出題範囲

300 Mixed Environment Exam (300 試験)では、Linux、Windows、Unixが混在するシステムの設計、構築、運用・保守における重要な技術や、認証システムの構築や管理についての高度な技術が問われます。



## 試験No.300 Mixed Environment Exam

主題	内容	主題	内容
OpenLDAPの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>OpenLDAPのレプリケーション</li> <li>ディレクトリの保護</li> <li>OpenLDAPサーバのパフォーマンスチューニング</li> </ul>	Sambaの共有の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルサービス</li> <li>Linuxファイルシステムと共有/サービスのパーミッション</li> <li>プリントサービス</li> </ul>
認証のバックエンドとしてのOpenLDAP	<ul style="list-style-type: none"> <li>PAMおよびNSSとLDAPの統合</li> <li>アクティブディレクトリおよびKerberosとLDAPの統合</li> </ul>	Sambaのユーザとグループの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザアカウントとグループアカウントの管理</li> <li>認証と許可およびWinbind</li> </ul>
Sambaの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>Sambaの概念とアーキテクチャ</li> <li>Sambaを設定する</li> <li>Sambaの保守</li> <li>Sambaのトラブルシューティング</li> <li>国際化</li> </ul>	Sambaのドメイン統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>SambaのPDCとBDC</li> <li>Samba4のAD互換ドメインコントローラ</li> <li>Sambaをドメインメンバーサーバとして設定する</li> </ul>
		Sambaのネームサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>NetBIOSとWINS</li> <li>アクティブディレクトリの名前解決</li> </ul>
		LinuxおよびWindowsクライアントの操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>CIFS連携</li> <li>Windowsクライアントの操作</li> </ul>

出題範囲の詳細と最新情報は <https://linuc.org/linuc3/range/> で必ずご確認ください。

### 受験申込について

#### EDUCO-IDの確認

- ① LinuCレベル1で既に取得しているEDUCO-IDを使用して下さい。  
<https://linuc.org/exam/>  
(ログインすると、受験履歴や認定証送付先などの登録内容の確認が可能)
- ② 受験予約の際はEDUCO-IDの入力が必須。
- ③ 下記のテストセンターのWebサイトまたはTELで受験申込。受験日は随時。

#### 受験の申込については、テストセンターにお問い合わせください。

ピアソンVUE

<https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/LinuC.aspx>  
TEL 0120-355-173 (受付時間 祝祭日を除く月曜日～金曜日 9:00～18:00)

#### 団体受験

団体受験をご希望の際は、LPI-Japan事務局まで直接お問い合わせください。

#### 受験料

16,500円(税込)  
※一回目の不合格日から1年間、同一試験を5,500円(税込)で再受験可能(1回限り)。  
※LinuC-3 300 Mixed Environment(レベル3 Mixed Environment)を取得するためには、有意なLinuC-2の認定を保持し、かつ、300試験に合格する必要があります。

### LinuC認定取得者の特典

- 1.認定証授与
- 2.認定カード授与
- 3.LinuC認定取得者用ロゴの進呈  
(名刺等に使用することができます。)
- 4.LPI-Japanコミュニティへの参加



#### LPI-Japan発行メールマガジンにご登録ください!

- 「LPI-Japan通信」(レベル1例題解説、合格者の声、セミナーご案内など)
- 「LinuCレベル2・レベル3を受けてみよう」  
(レベル2、レベル3例題解説、合格者の声、セミナーご案内など)

登録はこちら ➡ <https://lpi.or.jp/mail/>



詳しい内容の説明をご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

特定非営利活動法人 オープンテクノロジープロフェッショナル認定機関  
エルピーアイジャパン (LPI-Japan) 事務局

Tel:03-6205-7025 E-Mail:info@lpi.or.jp  
<https://linuc.org>

lpi\_japan <https://www.facebook.com/lpijapan/>